

平成25年10月30日

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員

友成 亮 司

このたび、政務調査のため出張しましたので次のとおり報告します。

日 時	平成 25 年 10 月 17 日 14:00 ~ 15:30
視 察 先	京極町給食センター
調査事項	給食センター業務委託（受託方式）
対 応 者	京極町教育委員会 教育長 高橋 武志氏。学務課長 原田 美子氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	給食センター業務委託（受託方式） 学校給食は、成長期にある児童・生徒の心身の成長と健康を支える上で大切な役割をはたしており、何よりも安全で安心に食べられるものを提供することが求められています。 京極町と喜茂別町の業務委託に関しては、双方とも昭和46年、開設以来40年が経過し、施設の老朽化と調理法式の改善等、衛生管理に対する考え方が益々厳しくなっており対応が求められて来た。 平成25年に、このため、検討委員会がスタート。次第に単独の表し、最終的に、最初から広域化を希望していた、喜茂別町と平成22年5月に合意を見た。 工事概要は、別紙を添えてあります。工事期間は、平成24年7月6日～25年3月5日。 給食費は月額、小学校5,200円、中学校4,500円で合意。 数は、京極町、喜茂別町に、小学校2校、中学校1校で、別紙の通り、京極町295食、

喜茂別町は168食、計463食となっている。

給食配送業務は、それぞれの町で、業務委託
としている。

配送時間、京極町の小学校の1校は、廊下で
つながっていて、他は、7〜8分程度。

喜茂別町内では、15分程度で、学校内では、20〜
25分程度。

特記、①オール電化厨房。(別紙参照)

② ドライシステムで実施。衛生管理から、アル
コール消毒から、ドライシステムにした。

本町としても、由仁町との広域の検討が、進まず
早急な対応が構築していかなければならぬ
時期に来ていると思う。

日 時	平成 25 年 10 月 18 日 10:00 ~ 11:30
視 察 先	黒松内町
調査事項	農村や自然の環境と活かした地域づくり
対 応 者	企画調整課 桜井淳一氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	<子育て支援低家賃住宅整備事業> 1. 白井川地域の現状 黒松内町の第二市街地である白井川地区は、中心に通の駅、役場支所、JR駅、小・中学校があり、平成21年には黒松内新道も開通しインフラが整い、また、白井川小学校では山村留学の受け入れも行っていますが、10年間で2割以上の人口が減少し、地域別人口での世帯人員は、1.87人と最も低く、55歳以上の人口も約7割を占めるなど、少子高齢化と過疎化が顕著な地域です。 2. 事業の目的 子育て世代による定住・移住を図り、地域の活性化を目的としている。また、高気密・高断熱で快適な北方型住宅化種の住宅を整備し地元業者の高い住宅建築のPRと地元経済への波及効果を目的としています。 3. 入居条件(主たる) ・同居しようとする親族に義務教育終了前の子が1人以上いること。 ・就学する学校は、白井川小・中学校とすること。

・町内会加入し、地域行事及び活動に積極的に参加できる者。

・住宅周辺の景観に配慮できる者。

4. 家賃 月額 15,000円

5. 建物の概要・特徴

・構造：木造 ・階数：2階建て

・延床面積：96.68㎡ ・屋根形状：マンサード型

6. 補助金

・平成22年度：地域づくり総合交付金

事業費 30,000千円 補助金 15,000千円

・平成23年度：地域活性化交付金(その他交付金)

事業費 33,000千円 補助金 33,000千円

・平成24年度：町単独 事業費 17,000千円

○現在、5棟、小中学生 10人

地元1件。

※本町に於いても、角田、健五、日出地等、さらに
湯地エフビレッジの活用、考慮すべき要素はな
いか？

<特記>

町長・議長が、貴重な時間と与えて、対応して
いただきました。

地元議員が、自然体験学習宿泊施設を、案内
いただきました。

また、豊浦、寿都、黒松内町の議員と交流す
ることが出来た。

<新聞資料を添えてあります。>